

令和4年(2022年) プレス災害発生状況

令和5年(2023年)2月末現在

1. 地区別

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
燕地区	70	53	8	17	12	11	15	63	63.6%
燕	55	32	6	9	8	11	11	45	45.5%
(吉田)	13	16	2	5	2		3	12	12.1%
(分水)	1	2	0	1				1	1.0%
弥彦	1	3	0	2	2		1	5	5.1%
三条地区	39	19	5	6	5	2	8	26	26.3%
三条	29	11	5	6	5	2	8	26	26.3%
(栄)	7	6	0					0	0.0%
(下田)	3	2	0					0	0.0%
加茂地区	4	5	1	3	1	2	1	8	8.1%
加茂	3	3	0	2		1	1	4	4.0%
田上	1	2	1	1	1	1		4	4.0%
見附地区	1	0	0	1			1	2	2.0%
合計	114	77	14	27	18	15	25	99	100.0%

2. 事業場規模別

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
1～9人	38	33	9	7	6	7	5	34	34.3%
10～29人	44	24	4	13	11	4	13	45	45.5%
30～49人	13	6	1	1		4	1	7	7.1%
50人以上	19	14	0	6	1		6	13	13.1%
合計	114	77	14	27	18	15	25	99	100.0%

3. プレス機械の種類等

種類	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
ポジティブクラッチ	44	26	5	5	6	2	7	25	25.3%
フリクションクラッチ	46	35	7	14	11	9	13	54	54.5%
液圧プレス	9	5	1					1	1.0%
プレスブレーキ	12	9	1	6	1	1	2	11	11.1%
その他のプレス	3	2	0	2		3	3	8	8.1%
合計	114	77	14	27	18	15	25	99	100.0%
起動方式									比率
両手操作	11	8	1	2	2	3	5	13	13.1%
片手操作	4	1	1	1				2	2.0%
足踏み操作	97	67	12	23	16	12	20	83	83.8%
その他	2	1	0	1				1	1.0%
合計	114	77	14	27	18	15	25	99	100.0%

4. 安全措置状況

(状態として)安全措置あり		20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
	安衛則第131条第1項措置	24	10	2	3	0	2	0	7	5.6%
安全囲い	13	6	2	1		1		4	3.2%	
安全金型								0	0.0%	
専用プレス				1				1	0.8%	
自動プレス	5	1		1		1		2	1.6%	
安全プレス	6	3						0	0.0%	
安衛則第131条第2項措置	61	46	14	27	22	17	23	103	83.1%	
ガード式	3	1		1		7	4	12	9.7%	
両手操作式(FC)	2	2	6	9	4		2	21	16.9%	
両手起動式(PC)	2	3			2	1	4	7	5.6%	
光線式	34	35	6	14	10	9	13	52	41.9%	
手引き式	4				1			1	0.8%	
手払い式	11	3	1	1	3			5	4.0%	
PSDI								0	0.0%	
手工具	5	2	1	2	2			5	4.0%	
安全措置なし	40	7	2	6	2	2	2	14	11.3%	
合計	125	63	18	36	24	21	25	124	100.0%	

注・1台に複数の安全装置がされている場合も含む。安全装置がしてあり、使用を怠った場合も「安全措置あり」に含む。

5. 作業の種類

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計
定常作業(抜き・切断・曲げ・絞り等)	89	63	11	24	17	11	22	85
非定常作業(金型取り外し等)	25	14	3	3	1	4	3	14

6. 災害発生原因

	20年～24年	25年～29年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	合計	比率
不安全な状態	92	54	4	15	19	6	17	61	48.8%
安全装置なし	16	14	2	6	2	1	4	15	12.0%
プレス機械の故障等	1	3			1			1	0.8%
安全装置の故障	1	2			1			1	0.8%
安全装置の不備(調整不良)	25	18	1	4	6	1	5	17	13.6%
作業方法の欠陥	41	13	1	5	8	4	7	25	20.0%
その他	8	4			1		1	2	1.6%
不安全な行動	90	47	14	12	15	10	13	64	51.2%
安全装置を無効にする	41	24	6	6	8	6	9	35	28.0%
安全装置の不履行	19	12	6	5	5	2	1	19	15.2%
その他(金型の取付・取外・調整を含む)	30	11	2	1	2	2	3	10	8.0%
合計	182	101	18	27	34	16	30	125	100.0%

(注) 不安全な状態と行動は両方該当する場合も記入してある。(災害発生件数と一致しない。)

(注) ○印の数字は死亡者数を表す。

【プレス災害発生状況】(プレスの種類で、FCプレスは、フリクションクラッチプレス、PCはポジティブクラッチプレスと種類を略称している。)

- 2月 PCプレスを使って、絞り作業中、加工後の製品を取り出そうとしたところフットスイッチを踏み、左手を負傷した。ガード式安全装置を取り付けていたが取り外していた。  
FCプレスを使って、曲げ作業中、フットスイッチを踏み、左手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。  
FCプレスを使って、曲げ作業中、製品の位置を調整していた際にフットスイッチを踏み、左手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。  
プレスブレーキを使って、曲げ作業中、材料が滑った際にフットスイッチを踏み、材料を保持していた右手を負傷した。安全装置は備えられていなかった。
- 3月 PCプレスを使って、抜き作業中、金型の上の状態を両手を入れて確認していた際に、フットスイッチを踏み、両手を負傷した。ガード式安全装置を使用していなかった。  
エアプレスを使って、曲げ作業中、加工後の製品を取り出そうとしたところフットスイッチを踏み、右手を負傷した。両手起動式安全装置を使用していなかった。
- 4月 PCプレスを使って、絞り作業中、製品を取り出そうとしたところ金型が二度落ちて、左手を負傷した。  
PCプレスを使って、曲がり直し作業中、製品の位置を直そうとしたところフットスイッチを踏み、左手を負傷した。ガード式安全装置を取り付けていたが、防護範囲が不足していた。  
FCプレスを使って、曲げ作業中、材料を供給した際にフットスイッチを踏み、右手を負傷した。光線式安全装置の作動状況等を含めて原因は調査中。
- 5月 PCプレスの金型取付後の調整中、上型から加工品を取り出そうとしたところ、加工品が落下して、左手を負傷した。  
FCプレスを使って、刻印作業中、製品の位置を調整したところフットスイッチを踏み、左手を負傷した。光線式安全装置の防護範囲が不足していた。  
FCプレスを使って、成形作業中、製品を供給した際にフットスイッチを踏み、右手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。
- 7月 FCプレスの金型調整中、フットスイッチを踏み右手を負傷した。  
PCプレスを使って、曲げ作業中、製品を送り出したときに、フットスイッチを踏み、右手を負傷した。ガード式安全装置が取り付けられていたが防護範囲が不足していた。  
PCプレスを使って、曲げ作業中、製品を取り出すときにフットスイッチを踏み、右手を負傷した。安全装置は備えられていなかった。  
サーボプレスを使って、切断作業中、製品が隙間に詰まり取り除こうとしたところ、右手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが防護範囲が不足していた。
- 8月 FCプレスを使って、抜き作業中、製品の位置を調整していたところ、フットスイッチを踏み、左手を負傷した。ガード式安全装置を取り付けていたが取り外していた。  
FCプレスを使って、切断作業中、フットスイッチを踏み左手を負傷した。安全装置は備えられていなかった。
- 9月 プレスブレーキを使って、曲げ作業中、材料が滑った際にフットスイッチを踏み、材料を保持していた右手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。  
FCプレスを使って、抜き作業中、製品の位置を調整していた際にフットスイッチを踏み、右手を負傷した。寸動工程のままだったため、光線式安全装置が無効になっていた。
- 10月 FCプレスを使って、絞り作業中、材料を供給した際にフットスイッチを踏み、右手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。
- 11月 FCプレスを使って、曲げ作業中、製品を供給した際にフットスイッチを踏み、右手を負傷した。両手操作式安全装置が備えられていたが無効にしていた。  
FCプレスを使って、抜き作業中、製品を上型から取り出そうと光線式安全装置の防護範囲外から手を入れたところ、フットスイッチを踏み、右手を負傷した。
- 12月 FCプレスの金型の不具合を直すために手を入れたところ、フットスイッチを踏み、左手を負傷した。  
サーボプレスを使って、抜き作業中、製品の位置を直そうとしたところフットスイッチを踏み、左手を負傷した。光線式安全装置が備えられていたが無効にしていた。